

一般質問

学校・家庭・地域の連携力



かなざき まさゆき
金崎 昌之

問 学校・家庭・地域の3者連携で「共育」を推進し、非行の減少から学力の向上にまで好結果を生んでいる福岡県春日市の例に学び、秩父市での3者連携のあり方はどうあるべきと考えるか。

答 「学校応援団」のこれまでの保護者や地域との連携の実績を踏まえつつ、春日市の取組も参考に研究を進めたい。

●町会支援制度の拡充を

問 勢いを増す秩父市の少子・高齢化、人口減少と、それに伴う家族構造の変化等の中で、町会の任務は次第に多面化・複雑化し、その負担は今後ますます増大すると考える。これらを踏まえると、現在ある「町会事務費補助金」制度の見直しが必要と考えるが。

答 市の厳しい財政事情を考えると非常に難しい。市としては町会への加入促進のお手伝いができないか研究したい。

問 各町会にある集会所等は、災害時の避難場所にもなる拠点施設。ここにAEDやエアコン等の必要な設備を設置する場合、その一部補助が必要だと考えるが。

答 地域の安心・安全に大変重要な施設なので、今後財政状況を勘案しながら調査・研究していく。

●防災行政無線放送の活用

問 27年9月に熊谷市で小学生姉妹2人を含む6人が殺害された事件では、防災無線を使った注意喚起の必要が鋭く問われたが。

答 緊急事態が発生した場合には、市独自の判断で積極的に情報発信をする方法も検討する。



書籍化されている春日市の学校・家庭・地域連携

清流クラブ政策提言



このかみ しげあき
清流クラブ 五野上 茂次

●医療・福祉・健康政策

問 市立病院の入院期間三カ月は延長できないか。

答 自宅での療養に不安がある患者さんに対しては26年1月に開始した「地域包括ケア病棟」において、在宅復帰に向けた治療やリハビリを行っている。

問 産婦人科の現状は。

答 市長の派遣要請により、埼玉医大から産科医師を週3回派遣いただいているほか、市立病院からも助産師2名を産科医療機関に派遣し、秩父圏域内の妊産婦受け入れを強化している。

問 障がい者の雇用率向上のための施策は。

答 定住自立圏事業の中で、障がい者の就労支援のノウハウを持っている社会福祉法人に委託し、支援を行っている。

●教育・子育て・文化伝承政策

問 小中一貫教育の推進状況。

答 いじめ、不登校、中一ギャップ等の学校への不適応、学力向上対策等、学校教育上の諸課題を解決するうえでも効果的な取り組み

としてとらえており、今後その効果や必要性について検討したい。

問 高篠中学校の隣接地をグラウンドの一部として取得できないか。

答 相当な財政負担が伴うことから、市の財政状況を考えると早期実施は難しい状況である。

問 学校の再編成については。

答 公共施設等総合管理計画に基づき、学校施設の今後のあり方を定める個別計画の策定準備を進めている。



拡張が望まれる高篠中学校庭

◎全普通教室へのエアコン設置の早期実現
◎道路・橋梁の要望書の現状

一般質問

清流クラブ政策提言から
公共施設・まちづくり政策

清流クラブ 松澤 一雄
まつざわ かずお

問 少子高齢化、人口減少の進む中、施設の老朽化等に伴う維持管理対策についての取組み強化策は。

答 公共施設の維持管理については、今後の厳しい財政状況が予想される中、市民生活に欠かせないサービスの優先度を基に、事業を取捨選択し、老朽度や利用度、重複施設の削減等総合的な整理統合により、機能の集約化と経費節減を図り、保全施設にあつては、財政計画との整合性を保って進める。

問 28年度末に完成する市民会館の有効活用を市民は大いに期待するが、その管理運営策は。

答 現在パブリックコメントを実施し、次のような計画案で進めている。①設置目的には旧秩父宮記念市民会館の趣旨「秩父宮家との御縁故を永く記念すること」を継承する。②管理運営方針は、市民の芸術文化活動の発表の場は元より、様々なジャンルの本格的な公演作品を積極的に誘致し、また魅力的な事業を展開して施設の稼働率の向上を図る。③管理は専門性を要することから、技術管理や事業企画は業務委託を考える。④今後の予定は、会館完成を待つプレ

イベントの実施、29年3月には完成記念式典を開催し、市民の皆様にお披露目する。その後、試行期間を経て本格的に開館し、多彩な事業を展開し「環境文化都市ちちぶ」の素晴らしい芸術文化を発信する「まちの顔」として、賑わいのあるまちづくりを目指す。



建設中の本庁舎等

- ◎西武秩父駅周辺整備
- ◎地籍調査の推進
- ◎行財政改革への取組

市民の願いを市政へ



日本共産党秩父市議会議員団 山中 進
やまなか すずむ

●大滝地区の将来像、拠点づくりは

問 大滝地区は人口840人となり高齢化率も高い。住民の皆さんは、大滝という地域に対するさまざまな思いや願いをかなえられる施設づくりが出来る事を望んでいる。そうした状況をふまえ、協働での地域づくり、人と人が支えあつて助け合う仕組みづくりに取り組める拠点づくりが望まれる。

地域のため、住んでおられる方のために町会長や区長さんをはじめとする各地区の皆さん、民生委員、NPO法人、地域おこし協力隊、その事業に協力していただく方、市職員が全て一つになって計画が練られる事と思う。

大滝で住み続けられる、住んでいて良かったといえる地域にするための拠点づくりになることを願っている。

今後のスケジュールと方向性について。

答 高齢化の進む大滝地域において、安心安全な生活圏を守るための取り組みとして、閉校となった大滝中学校へ公共施設を移転・集約し、地域の拠点として位置づけ

るため、整備していくこととし今年度よりスタートした。
現在までに、地域での委員会を立ち上げ、2回の会議を開催した。また、地域住民の方々を対象に拠点づくりに対するご意見・ご要望を把握するためのアンケートを実施するとともに、基本構想策定のための業務委託を発注している。



旧大滝中学校

- ◎子育て支援
- ◎介護保険制度の現状
- ◎市立病院の充実

意見書

12月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書5件が提出され、審査の結果、4件は原案のとおり可決、1件は否決されました。可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

マイナンバー制度の運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書

- 1 28年度以降についても、地方公共団体情報システム機構に支払う交付金全額を国の負担とし、充分な予算措置をすること。
- 2 同様に、個人番号カード交付事務を行うため、事務処理に必要な人員の確保やシステム整備経費など、全額を国の負担とし、充分な予算措置を行うこと。
- 3 地方自治体の予算編成等に支障が出ないよう、補助金交付やシステム改修フローなど、制度導入準備のために必須の情報を適時適切に提供すること。
- 4 地方自治体職員や地域の事業者に対する研修用ガイドブックの作成、研修会の開催など十分な支援を実施すること。
- 5 配達できなかった簡易書留郵便（マイナンバー通知）の受取人の所在調査に要する経費の負担軽減を図ること。

6 マイナンバー制度導入時の混乱に乗じた詐欺の防止や同制度の周知広報に対する支援を実施すること。

所得税法第56条の見直しを求める意見書

- 1 所得税法第56条（事業主と生計を一つにする配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しないとする規定）を抜本的に見直すこと。

災害ボランティア割引制度の創設を求める意見書

- 1 地震、津波、豪雨、豪雪などの大規模な災害発生時に、被災地に赴く災害ボランティアに対して交通費や宿泊費を割り引く制度を創設すること。

（仮称）森里川海協力資金制度の創設を求める意見書

- 1 森里川海の恵みを受ける国民が広く薄く負担し、森里川海のつながりを維持・回復し、次世代に引き継ぐための取り組みを国民的運動として進めるための（仮称）森里川海協力資金制度を創設すること。
- 2 （仮称）森里川海協力資金制度の創設にあたっては、具体的な負担の仕組みや施策の必要性、資金の用途を広く国民に明らかにすること。

3 国民参加型の協議会の仕組みを活用し、国・自治体等による森里川海の維持・回復のための取り組みをより一層進めること。

ありがとうございました

12月定例会の盆栽

12月定例会に盆栽を提供していただいた方は、新井進さん（下吉田井上町会）です。



新井進さん提供

市議会を傍聴してみませんか 3月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日 程	議 事
2月26日(金)	開会、議案説明
3月2日(水)、3日(木)	議案に対する質疑
4日(金)、7日(月)、8日(火)	一般質問
10日(水)、11日(金)	委員会
16日(水)	委員長報告、採決、閉会

※ 議場は、吉田総合支所の3階です。
※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もありますので、傍聴の際は、議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

12月定例会は秩父夜祭りをはさんで開催されました。今年の祭りは暖かく、花火もきれいで、観光客の皆様も我が街秩父を満喫していただけたと思います。

さて、12月定例会では15人の議員が一般質問を行い、市政への質問、来年度への政策提言などの活発な議論がなされました。この議会だよりによりわかりやすく掲載しましたので、多くの市民の皆様にご覧いただけることを期待します。今年度も、議会だよりを4回発行し、配布にご協力いただいた皆様には、深く感謝申し上げます。

この紙面が各家庭に届くのは、立春を過ぎる頃となりますが、秩父はまだまだ寒さが続きます。市民の皆様には健康に十分ご留意ください。

平成27年12月

高野

宏記

編集委員

委員長 木村 隆彦
副委員長 福井 貴代
委員 江田 治雄
委員 清野 和彦
委員 赤岩 秀文
委員 高山 宏
委員 野中 宏